公式記録用紙　記入要領

岐阜県小学生バレーボール連盟
審判委員会

記録員は目立たないようですが、誤りが発生するとゲームの長時間中断を招くなど影響が大きく、特にサーブ順誤りを起こさせない役割として重要な審判役員です。

【1．トスの後】
① 記録席より向かって左がA、右はB。
　試合を通してチームのA・Bは固定
② トスによりサーブ権を得たチームは「S」に×。
　レシーバチームは「R」に×
③ 公式練習中に記録用紙右端の登録選手と実際に居る選手のゼッケンに相違無いかチェックする
④ 公式練習中にスターティングラインアップシートを監督または副審より受け取り、登録メンバー表と突合後先発メンバー欄に記入。

【2．ゲーム開始時】
　＜サーブ順の確認＞選手の並び順と「先発メンバー」欄に相違なければ、チーム毎に、副審にOKを合図
① 最初のサーバーの「1」に☑を入れた後、サーバーを目視確認し、サーバーにボールが送られたら、両手を挙げて、ゲームを始めてOKを合図
② セット最初のサービス許可の吹笛時刻を「開始」欄に

【3．ラリー中　サーブ権の移動】
① 得点を得た相手チームの得点を／線で消す
② 失点により相手にサーブ権が移動した時点のそれまでにチームが得た点数を記入
③ サーブ権を得たチームの次のサーバーの「1」回目に☑印後実際にサーバーを見て選手が正しければ主/副審にうなずきサーブ順OKを合図をする
　⇒＊コツ　現在のサーバーの欄を指で押さえていると　サーブ順の誤り等に気づきやすい。
　＜サーバー誤り時＞副審を通じ「順番が違っている」　ことを教える。サービス許可吹笛前・トス前ならば　罰無しで交代可
④ 得点を得るごと得点の数字に／線で消す
⑤ サーバーチームの失点により相手が得た時は　相手チームの得点に／線を入れる
～以下　3-②⇒③⇒④⇒⑤　の繰り返し～
③ 得点は手元を記載後、点字盤も見て確認する。
点示盤の表示が正しいかも、随時チェックする
※点示盤誤りはラリー終了後副審を通じ訂正する。

【S．選手交代】
① 選手交代の要求を副/主審が許可し吹笛した後交代しようとするペアの選手が正しい要求だと確認したら「片手を挙げてOKの合図」し、退く選手の下の番号欄に交代者の背番号を記入
② その時の要求したチーム得点を「：」の左側に、また相手チームの得点は右側に記入
書き終えたら両手を挙げて、記録完了の合図
◆再びこの選手同士を戻す交代の時
③ 正規な交代であると確認したら「片手を挙げOKの合図」退く選手の番号（記入例では9）を〇で囲み
④ その時の両チームの得点を２段目に記入
書き終えたら両手を挙げて、記録完了の合図

【T．タイムアウト】
① タイムアウトの要求を副/主審が許可し吹笛したら要求したチームの側の得点をﾀｲﾑｱｳﾄ欄左側に記入
相手チームの得点を同欄右側に記入
② タイムの回数、次のサーバーの番号を副審に口頭で告げる。30秒後、タイムアウトの終了を副審が吹笛した後に、サーバーが正しいか確認し両手を挙げ、ゲーム再開して良いことを合図

＜セット終了間際＞
ラスト１ポイント（20点目、14点目）の時、記録は得点板が間違い無いと、うなずいて主審／副審に合図

【4．セットの終了時】
① 最終ポイントの主審の判定後、得点21を／線で消しセット終了のハンドシグナルを主・副審に対し送る。
② そのセット終了の主審の吹笛の時刻を記入する
③ 両ﾁｰﾑのｻｰﾋﾞｽのﾁｪｯｸ欄の最終得点を〇で囲む
相手チームの失点により最終得点を得た場合は次のサーバーの欄に☑印なしで21を記入し〇で囲む
④ ／で消されなかった得点は又で消す
⑤ 次のセット開始時刻は前セット終了の３分後
※時計の時刻ではない

大会名 － 岐阜県小学生選抜大会
開催地　各務原市
会場名　織田小学校体育館
試合番号　B－3　男子 □ ☒ 女子
開催日 2018 年 4 月 22 日　試合設定時間 14 : 11
対戦カード　AorB (B) 信長小 対 聖徳小 (A) AorB

2-②

第1セット	開始 14：11	チーム 聖徳小 (A)	得点	(B) 信長小 チーム	終了 14：27	得点
サービス順	I	II	III	IV	V	VI
スターティングプレーヤー	1	3	2	10	5	6
選手交代 番号				8		
交代時得点	:	:	:	18：6	:	:
サービスのチェック欄 1回目	3	9	14	20	21	
2回目						
3回目						
4回目						

第1セット	(B) 信長小	得点	(A) 聖徳小 チーム	終了 14：27	得点
サービス順	I	II	III	IV	V	VI
スターティングプレーヤー	6	1	2	8	11	12
選手交代 番号						
交代時得点	:	:	:	:	:	:
サービスのチェック欄 1回目	1	4	6	8		
2回目						
3回目						
4回目						

4-①　4-②　4-③　4-④

第2セット	開始 14：30	チーム 信長小 (B)	得点	(A) 聖徳小 チーム	終了 14：51	得点
サービス順	I	II	III	IV	V	VI
スターティングプレーヤー	6	1	2	8	11	12
選手交代 番号				4		
交代時得点	:	:	:	:	:	11：13
サービスのチェック欄 1回目	略					
2回目						
3回目						
4回目						

第2セット	(A) 聖徳小	得点	(B) 信長小 チーム	終了 14：51	得点
サービス順	I	II	III	IV	V	VI
スターティングプレーヤー	1	3	2	8	5	6
選手交代 番号		9	4	10	11	12
交代時得点	:	7：8	10：10	7：8	7：8	7：8
サービスのチェック欄 1回目	8：9	:	8：9	12：10	12：10	
2回目	略					
3回目						
4回目						

4-②　4-⑤

第3セット	開始 14：54	チーム 信長小 (B)	得点	(A) 聖徳小 チーム	終了 15：09	得点
サービス順	I	II	III	IV	V	VI
スターティングプレーヤー	6	1	2	8	11	12
選手交代 番号						
交代時得点	:	:	:	:	:	:
サービスのチェック欄 1回目	1	2	4	6		
2回目						
3回目						

第3セット	(A) 聖徳小	得点	(B) 信長小 チーム	終了 15：09	得点
サービス順	I	II	III	IV	V	VI
スターティングプレーヤー	6	3	2	8	1	5
選手交代 番号						
交代時得点	:	:	:	:	:	:
サービスのチェック欄 1回目	3	4	6	7	10	11
2回目	1：4	13	15	17		
3回目						

5-①　5-②転記

チェンジコート	チーム (B) 信長小	コートチェンジ時の点数 (6)	得点
サービス順	I	II	III	IV	V	VI
スターティングプレーヤー	6	1	2	8	11	12
選手交代 番号						
交代時得点	:	:	:	:	:	:
サービスのチェック欄 1回目	14	15	8	12		
2回目	1：4					
3回目	8：11					

5-③　5-⑤

罰則				不当な要求 チーム(A)：チーム(B)		
警告	反則	退場	失格	A:B	セット	スコア
D				B	2	6 : 8
						:
						:
						:
						:
						:
						:
						:
						:
						:

N' … 競技者番号　M … マネージャー
C … 監督　D … 遅延の罰則
AC … コーチ　H … 部長

審判役員とサイン欄			
審判	氏名	都道府県	サイン
主審			
副審			
記録員			
アシスタントスコアラー			
高梨沙			
高木菜			

試合前に記入

A チームキャプテン B

6-⑤「勝利チームとセット数」の欄を記入したら、記録が完成していなくともチームキャプテンサインを先にもらう

岐阜県小学生連盟
公益財団法人日本バレーボール協会

【特記事項】

Bチームが試合を通して1回目の不当な要求があった場合×
不当な要求の2回目は、遅延の警告として罰則欄に記録する

AorB (B) 信長小 チーム名 聖徳小 (A) AorB

番号	氏名	番号	氏名

1-③　公式練習中にコートに居る選手と記載されている番号が一致しているか、チームキャプテンの番号は〇で囲まれて

試合前のサイン欄
「上記登録選手に間違い無い」の意味でサインをもらう。選手は基本フルネーム
監督不在時（コーチが代行務める場合など）は空欄

キャプテン　キャプテン
監督　監督

試合結果									
チーム 聖徳小 (A)					(B) 信長小 チーム				
タイムアウト	選手交代	勝	得点	セット(時間)	得点	勝	選手交代	タイムアウト
0	1	1	21	I (16)	8	0	0	0
0	9	0	22	II (21)	24	1	1	1
0	0	1	17	III (15)	15	0	0	2
0	10	2	60	セット (52)	47	1	1	3

試合開始時刻	試合終了時刻	試合所要時間
14 h 11 min	15 h 09 min	0 h 58 min

勝利チーム　6-⑤　聖徳小　2：1

【5．第３セット（15点マッチ）】
① 第３セットでは改めて記録席前で両キャプテンを招きトスを行う。
　トスの結果、チームのA・Bを〇の中に記入し、サーブ権を得たチームは「S」に×。
② 左側チームの先発メンバーは、セット開始前に右端へも転記しておく
　同様にタイムアウトや、選手交代の記録も、左端の記録を右端へも転記する。
③ 一方のチームが７点を得た時に、あと1点でコートチェンジの意味で主審・副審とアイコンタクト（うなずき）８点目入ったら左側チームの記録を右側に移り、続きから記入
④ コート交代時の点数欄（右側欄右上）に左側チームの点数を記入し、続きのサーバー欄から記入を始める
⑤ チェンジコート時までに得た得点は逆Tの字で消し続きの得点から／線で消す。
　タイムアウトや選手交代の記録も右側へ転記する。

【6．ゲーム終了】
① 最終ポイントの主審の判定後、最終得点を／線で消し、セット終了のハンドシグナルを副審に送る。
② 主審のゲームセットの吹笛の時刻を「終了　：　」に記入する
③ 各々のチームの最終得点を〇で囲む
④ ／で消されなかった得点は又で消す
⑤ 勝利チーム欄を記入したらチームキャプテンのサインをもらう
　（本来は記録完成後にもらうべきだがチームが立ち去る前にもらっておく）
⑥ 最終結果欄も含め記録が完成したら、記録→副審→主審順にサイン
　（それぞれが記入誤りがないかチェックし公式記録として認める意味でサイン）

【その他】
①記録員は記入が終わっている時は、顔を上げていること。主審は記録員が下を向いて記入・修正・確認している間は、サービス許可せず待つ。
②記録員は青のボールペンと定規を持参使用する。
記入にあたっては青ペンを使用するが、白黒コピーしたときに、原本と複写の区別をするため。
③記入誤りの訂正は＝二重線＝で消す。